

報道機関各位

**第 6 回実験熱流体に関する世界会議開催と
ヌッセルト - レイノルズ国際賞受賞のお知らせ**

4 月 17 日～21 日に、第 6 回実験熱流体に関する世界会議（6th World Conference on Experimental Heat Transfer, Fluid Mechanics, and Thermodynamics, ExHFT-6）が松島ホテル大観荘で下記の要領で開催されます。また、18 日には、熱流体研究者に送られる世界的な賞であるヌッセルト - レイノルズ国際賞が、庄司正弘 博士（東京大学名誉教授，産業総合技術研究所）に日本人で初めて授与されます。

概要： 実験熱流体世界会議の目的は、熱流体现象の科学的解明・工学的応用に取り組む世界各国の実験研究者が四年に一度、一堂に会することによって、熱流体分野における実験科学・工学の最新の手法や技術、最新の知見を世界的規模で交換し、同分野における研究の一層の進捗および国際間の学術的・実学的交流を推進することにあります。これまで、米国、ベルギー、ギリシアなど欧米を中心に、四年に一度開催されており今回で第六回を迎えますが、アジア地区での開催は初となります。今回は 40 カ国から 270 編の論文が受理され、約 250 名の出席者が予定されています。

4 月 18 日（月）8 時 30 分から開催される本会議開会式で、熱流体研究に携わる研究者に授与されるヌッセルト - レイノルズ国際賞が庄司正弘 博士（東京大学名誉教授，産業総合技術研究所）に日本人で初めて授与されます。庄司博士は、熱力学，熱伝導理論，沸騰や蒸気爆発などの相変化伝熱，レーザー治療，カオス力学系など、熱工学に関する永年の研究活動とその功績が認められての受賞です。

会議の詳細は以下のホームページをご参照下さい。

<http://pixy.ifs.tohoku.ac.jp/exhft6/>

主催： 実験熱流体世界会議委員会

共催： 東北大学流体科学研究所（所長 井小萩利明 教授）
日本伝熱学会（会長 荒木信幸 静岡大学教授）

議長： 東京大学工学研究科教授 笠木伸英
東北大学流体科学研究所教授 圓山重直

会期： 2005 年 4 月 17 日（日）～21 日（木）

会場： ホテル松島大観荘（宮城県松島町）022-354-2161 <http://www.taikanso.co.jp/>

連絡先：

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1
東北大学流体科学研究所 教授 圓山重直
Phone 022-217-5243